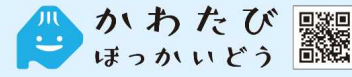


ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和5年 9月25日
帯広開発建設部

とかがわとうないしんすいろ 「十勝川統内新水路」が「土木学会選奨土木遺産」に認定！

～洪水から地域を守り、地域の発展に貢献～

「十勝川統内新水路」が令和5年度土木学会選奨土木遺産に認定されました。今年は、十勝川の治水事業が始まって100年を迎えます。

○認定概要

名称：十勝川統内新水路（とかがわとうないしんすいろ）

所在地：左岸 池田町千代田地先から豊頃町育素多地先

右岸 幕別町明野地先から豊頃町茂岩地先

竣工年：1937（昭和12）年

受賞理由：十勝川統内新水路は、十勝川流域の洪水被害軽減や統内原野の開発促進に貢献し、泥炭湿地帯の河道掘削及び築堤の施工技術や過程を示す貴重な新水路です。

※ 土木学会選奨土木遺産の認定制度は、土木遺産の顕彰を通じて、歴史的土木建造物の保存に資することを目的として平成12年度に創設されました。公益社団法人土木学会では、土木学会選奨土木遺産委員会を設け、社会へのアピール、土木技術者へのアピール、まちづくりへの活用などを促すことを目的に近代土木遺産（原則として、竣工後50年を経過したもの）を対象として、土木学会選奨土木遺産の認定を行っております。

（土木学会選奨土木遺産ウェブサイト https://committees.jsce.or.jp/doboku_isan/）

※ 十勝管内では、これまで、狩勝峠鉄道施設群（平成15年）、十勝川千代田堰堤（平成16年）、狩勝信号場跡（平成21年）、旧網走線開業時の鉄道施設群（平成28年）、岩松ダム（令和元年）、糠平ダム（令和3年）、旧喜登牛水路橋（令和4年）の7件が認定されています。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部 電話（ダイヤル）0155-24-4105
治水課長 矢部 健一郎（内線 291）
治水課長補佐 西本 学（内線 292）

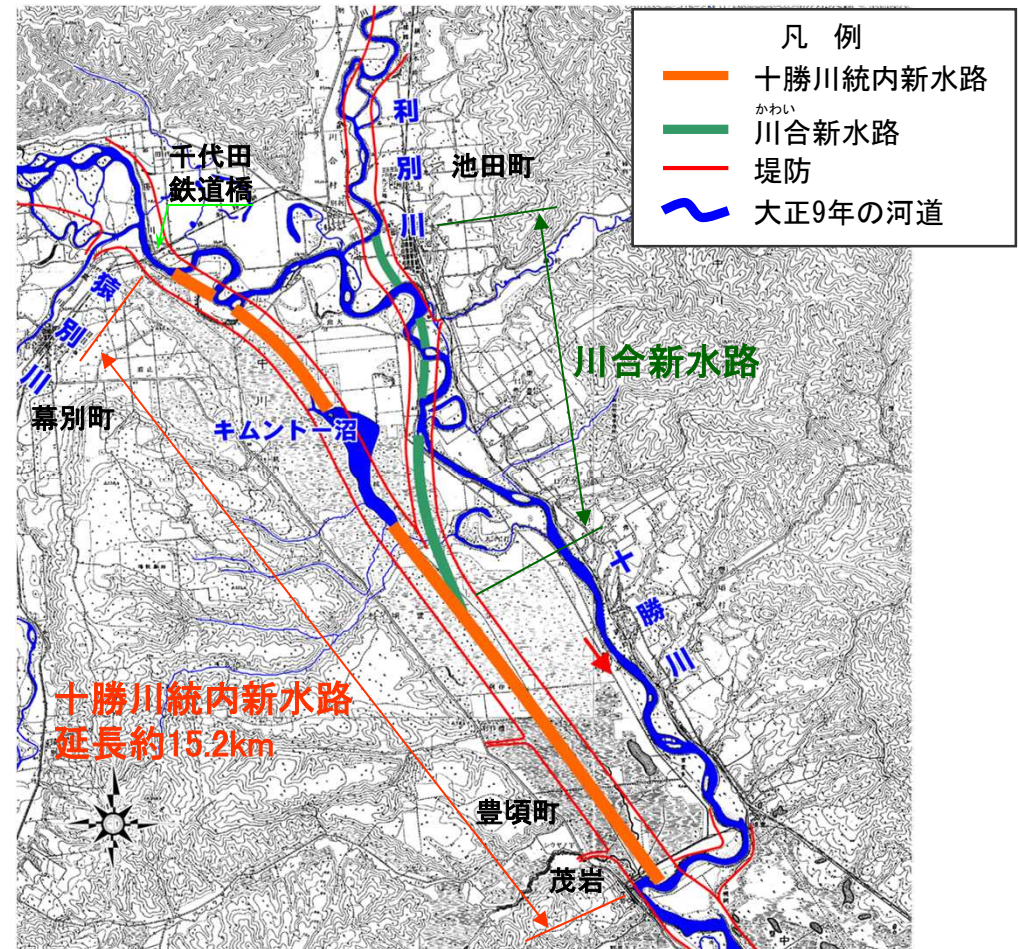
帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>



十勝川統内新水路は、洪水被害の軽減はもとより、未開発原野であった統内原野の開発促進のため、低平湿地の水位低下による農地や可住地の創出等を目的として昭和3年に着手し、千代田鉄道橋から統内原野のキムントー沼を新水路の一部として利用し、茂岩に至る新水路を掘削して昭和12年に通水しました。



十勝川統内新水路(茂岩から上流側を望む)



十勝川統内新水路位置図